

## 核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

核兵器の廃絶は、世界で唯一の被爆国である我が国のみならず、平和を願う人類共通の願いです。しかし、世界には約2万1000発もの核兵器が存在するとも言われており、今なお人類は核の脅威から解放される状況にはほど遠いのが現実です。

2000年に行われた核拡散防止条約(NPT)再検討会議で全面的な核兵器の根絶が約束されたにもかかわらず、2005年の同会議では実質合意がなされず、また、現在はNPT加盟国のアメリカ、ロシア、イギリス、フランス、中国の5カ国だけでなく、NPT未加盟国のインド、パキスタン、イスラエルも核兵器を保有しているとされ、さらにイランの核開発疑惑、地下核実験を行った北朝鮮の動きなど、核軍縮はもとより、NPT体制そのものが危機的状況に直面しています。

一方、米国のオバマ大統領は、核兵器を使用した唯一の核保有国の務めとして、核兵器のない世界に向けた具体的な措置を取ることを宣言し、核保有国として模範を示そうとしており、我が国も、2010年に開かれるNPT再検討会議で核兵器廃絶に向けた実効ある合意を目指すなど、核兵器の廃絶と恒久平和に向けて早急に行動を起こさなければなりません。

よって、国におかれては、下記の事項について実施するよう強く要請します。

### 記

- 1 非核三原則を堅持すること。
- 2 2020年までの核兵器廃絶を目指して平和市長会議が提唱する「2020ビジョン」の実現を支援すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成21年9月30日

上田市議会議長 丸山正明